

第 1 次府中市市民協働推進計画（仮称）素案

1 これまでの経緯

本市では、令和 7 年 3 月 23 日に府中市市民協働の推進に関する条例（通称：「協働しよう。そうしよう。条例」）を施行し、その目的を達成するべく、市民協働の推進に関する施策を体系的に整理し、方向性を明らかにするため、計画策定に向けて取り組んでまいりました。

計画策定に当たり、市の附属機関である「府中市市民協働推進会議」に諮問しており、令和 7～8 年度の 2 年間で計画を策定することが決定しています。1 年目となる令和 7 年度には市民協働推進会議において計画の概要を議論し、各委員からの意見・要望や答申を踏まえ、事務局にて「第 1 次府中市市民協働推進計画」として素案を作成しました。

2 令和 8 年度の予定

時期	内容
第 1 回（本日）	素案提示
第 2 回（6 月 18 日（木））	意見交換
第 3 回（7 月 23 日（木））	意見交換
第 4 回（8 月 27 日（木））	答申案
答申（9 月末）	答申

3 計画の全体構成

目次	
序章 市民協働とは	1. 用語の定義 2. 府中市が目指す市民協働の姿 3. 市民協働の原則 4. 市民協働の主体 5. 市民協働の形態 6. 市民等と市の協働 7. 協働の事例
第 1 章 計画の策定に当たって	1. 計画策定の趣旨 2. 計画の位置づけ 3. 計画期間 4. 策定体制

第 2 章 現状と課題	1. 市の現状分析 2. これまでの市の協働推進の取組と評価
第 3 章 計画の基本的な考え方	1. 計画の基本理念 2. 計画の基本目標 3. 施策体系
第 4 章 基本目標別の施策・指標	1. 市民協働を推進するための啓発・広報 2. 市民協働に取り組む市民等への支援 3. 中間支援組織・協働コーディネーターの育成 4. 市各課事業における市民協働の促進
第 5 章 計画の推進に向けて	1. 計画の推進体制 2. 計画の進行管理（PDCA サイクル）
参考資料	1. 市民協働都市宣言 2. 市民協働の推進に関する条例 3. 用語解説

4 令和 7 年度答申の反映状況

No.	主な意見	計画への反映状況・考え方
1	「市民協働とは」の位置について、市民協働に関する定義を早めに示すため、第 1 章の前に序章として位置付けてはどうか。	第 1 章の前に「序章」として配置しました。
2	「市民協働とは」の章が長いと読むのが大変なので、要点のみを記載し、詳細は「参考資料」につけてはどうか。	前提となる用語の定義や協働とは何かを説明するため、文量が多くなっています。
3	「市民協働とは」の章については、1～2 ページ程度で要点のみを記載してはどうか。	前提となる用語の定義や協働とは何かを説明するため、序章は 8 ページ程度としております。
4	色々な対象者へのインタビュー等を行い、課題を抽出できるとよい。	市民協働まつりでのインタビューや各種アンケート調査を実施し、第 2 章で市の現状分析として反映しています。

5	「市民と計画を育てていく」という考え方で策定してほしい。	計画の策定に当たっては、附属機関での協議・検討、アンケート調査の実施、パブリック・コメント手続の実施（予定）など、様々な形で市民参加を図ります。
6	図表だけでなく、図表を説明するための本文を記載してほしい。	図表と本文は相互に補完しあい、理解しやすい構成に努めます。
7	本文では少数の図表とグラフをつけるのみで、その他の詳細な資料は「参考資料」につけてはどうか。	本文の説明に必要な図表やグラフを掲載しました。図表やグラフの数は最終的に体裁を整える段階で調整します。
8	「現状」「分析」「(現状の)課題」「(未来の)課題」を分けて考えるのが良いと思う。	第2章において、「現状分析」を行ってから「課題」を述べる構成としています。「未来の課題」として想定されるものも課題の中に含めています。
9	日本全体の情報だと漠然として自分事に捉えにくいと感じる。	府中市の状況や特徴を中心に記載する構成としています。
10	SDGsは2030年までの目標であり次の目標が掲げられると思われるので、文章で「浸透している」と記載するのみとしてもよいのではないか。	現状SDGsについては触れていませんが、記載する場合は時代背景として簡潔に言及するにとどめます。
11	SDGsについて言及する場合は、府中市としてどのゴールを特に大事にしたいのか明確化してほしい。	現状SDGsについては触れていません。 様々な分野で協働を推進していくため、言及する場合も特定のゴールは掲げない方針です。
12	Society5.0についても言及し、加速して変化している時代背景を掲載してほしい。	Society5.0は国の政策的な概念であり、本計画の主目的からするとやや抽象度が高いと考えています。社会背景の説明よりも

		府中市の現状や課題に重点を置く構成としているため、現状では記載していません。
1 3	市の現状が重要であるため、「社会の動向」は不要ではないか。	府中市の状況や特徴を中心に記載する構成としています。
1 4	社会の動向は市の現状に反映されている部分があるため、繰り返しになるようであれば必要ないと思うが、書くのであれば、社会全体で「協働がうまくいかない理由」を示せば、それを解決するための施策に繋がると思う。	府中市の状況や特徴を中心に記載する構成としています。
1 5	外国人住民比率について、国別のデータを追加してほしい。	本文と直接的な関係がないため割愛しています。
1 6	福祉まつりなどの現状の具体的な取り組みを記載してほしい。	一部の事例をピックアップして掲載します。
1 7	現状生じていないが、近い将来生じうる課題を推定して、考察・対策してほしい。(例えばオーバーツーリズムなど)	協働の推進に関わる課題があれば、掲載を検討します。
1 8	例えば協働の認知度の年齢別の結果など、各データの年齢構成を記載してほしい。	特に年齢別の集計が有効と考えられるものは第2章に記載しています。
1 9	外国の方とのコミュニケーションや福祉現場での人手不足などの具体的な困りごとを書くべきだと思う。ただし、書き方については分量を見ながら判断できると	協働の事例の中で一部の地域課題を記載します。

	よい。	
２０	「評価」について、「評価」と「アクション」を分けて記載してほしい。	第２章で協働に関するこれまでの主な取組を記載しています。
２１	市民が受け手な印象とならない表現にしてほしい。	第５章の計画の推進体制において、市民が市民協働のまちづくりの主体であることが伝わるような図を記載しています。
２２	市民協働推進会議と市が対等の関係であることを意識した表現としてほしい。	第５章の計画の推進体制において、市民協働推進会議と市は対等な立場で協働する存在として表現しています。
２３	図や表には通し番号をつけてほしい。	図や表には通し番号を付番します。
２４	「協働で支えあう人とまち」など、心に響くキーワードを示してほしい。	「協働しよう。そうしよう。」を合言葉として普及していきたいと考えています。
２５	行政が推進していくことを記載しているが、市民がどのような役割を担うのかを記載する等して、市民が主体的に活動し、行政が支援するという構成としてほしい。	本計画の実施主体は市ですが、市民協働のまちづくりの担い手は市民です。本文中にもその旨を記載し、推進体制の図でも市民をまちづくりの中心として表現しています。

5 令和 7 年度市政世論調査の結果報告

調査対象者：市内在住の満 18 歳以上の男女

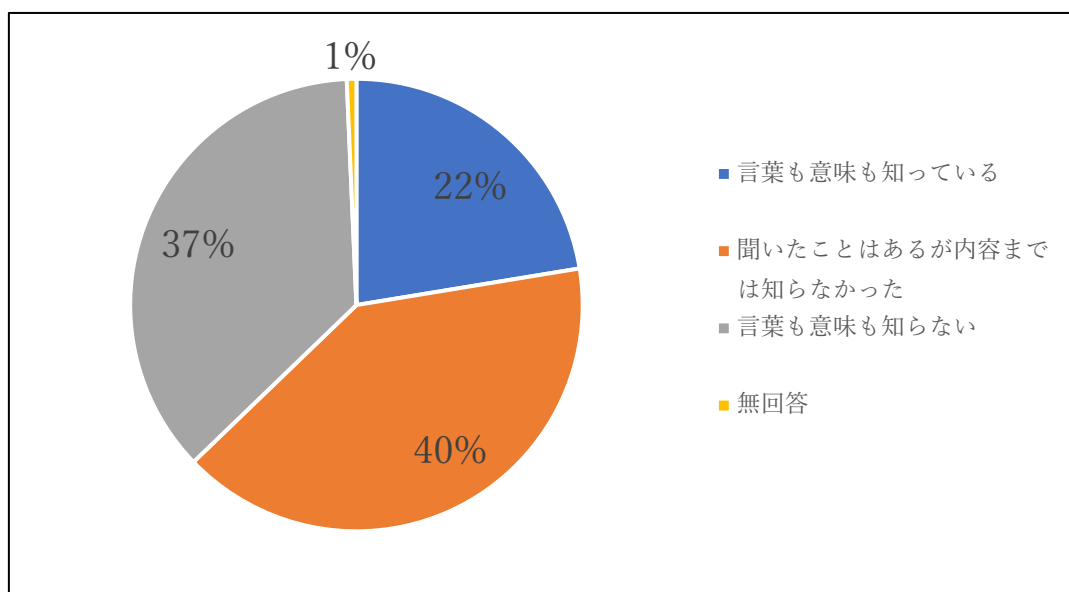
標本数：1,500 人

調査方法：郵送法（郵送配布、郵送・オンライン回収）

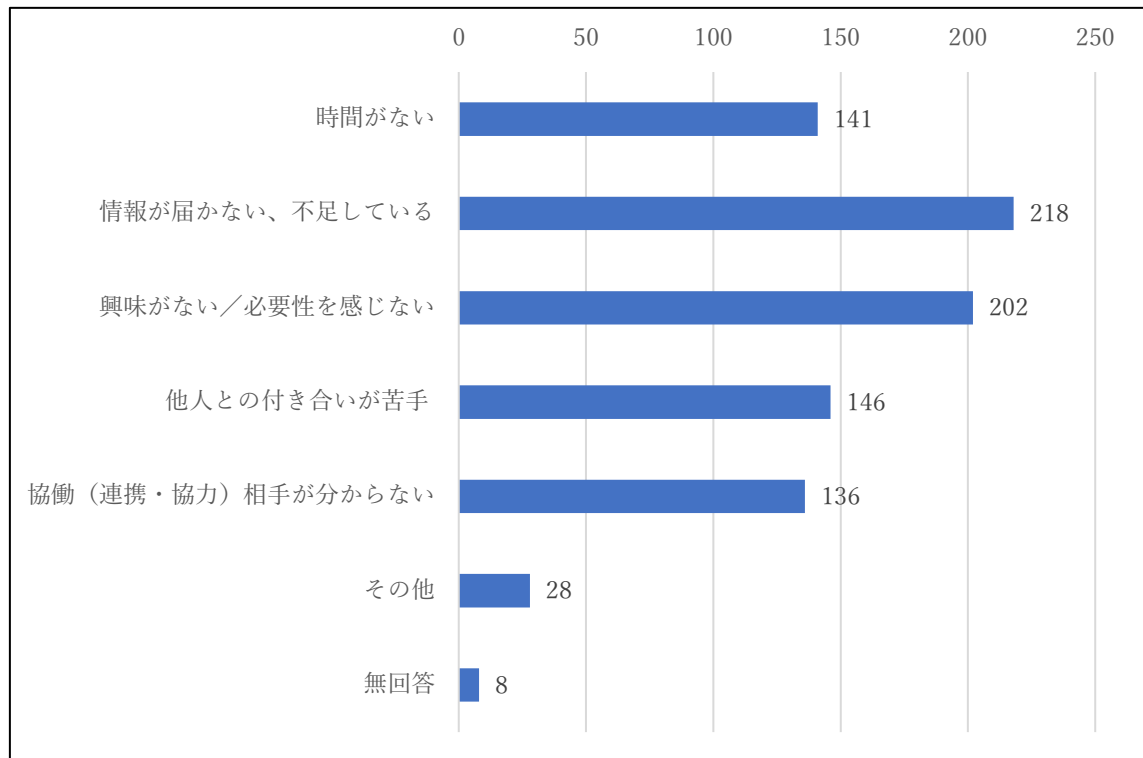
調査期間：令和 7 年 5 月 12 日から 7 月 11 日

回収数（率）：879 人（回収率 58.6%）

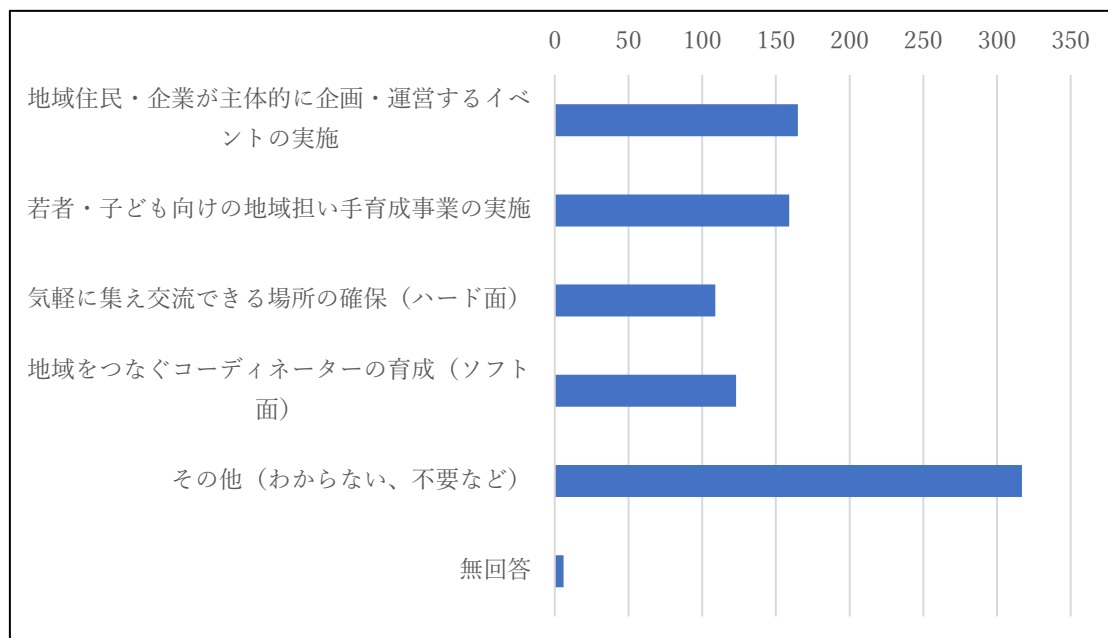
問 1 「協働」という言葉を知っていますか。次の中から当てはまるものを 1 つだけ選んでください。（○は 1 つだけ）



問2 昨今、地域の連携希薄化が社会課題の一つと言われています。近隣住民の方や地域の企業等との連携希薄化の原因として最も当てはまるのはなんだと思いますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)



問3 市内の各地域において、市民同士や地域に根差した団体・法人との連携を強化（活性化）していくために、最も効果的な方策はなんだと思いますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ）



6 審議事項

- (1) 計画の名称について
- (2) 「序章」の位置づけについて
- (3) 「共創」の定義について